



みずさきにん
水先人

関門水先区水先人会
ささなみしんのすけ
笹浪真之介さん
札幌市出身(下関市在住歴11年自)

Q この職業を選んだの？

海のない札幌で育った私は、将来は海に関わる仕事をしたいと考え、海洋系の学部のある大学に進学。在学中に法改正があり、船長経験者でなくても水先人になれるようになりました。

そこで、三級水先人の選考試験に挑戦。その後、海技大学水先コースに入學し、約2年半の訓練期間を経て、国家資格を取得し、関門水先区水先人会に入会しました。入会から10年かけて、さまざまな人に支えられながら、二級水先人、一級水先人へとステップアップできました。

Q 仕事をしているの？

どんなに優秀な船長でも、すべての水域の事情を把握することは困難です。さらに、港や海峡では、たくさん外国船などが行き交うため、私たちが水先人が船に同乗して、船を安全に早く目的地に導いていきます。

本船が来ると、水先船で本船に近づき、乗り込みます。そして、船長と航行ルートなどを打ち合わせます。水深や潮の流れといった、関門海峡特有の事情を考慮し、双眼鏡で障害物などがいないか確認しながら、本船の船長に、かじを切る方向やタイミング、角度をアドバースしています。

仕事図鑑



このページは、小・中学生、高校生を対象に市内で働く人・職業を紹介しています。先輩たちのメッセージを参考に、未来の自分を探してみませんか。

Q どんなときにやりがいを感じるの？

私たちが乗る船は、いつも同じ船ではありません。船によつて全長、総トン数、かじの効き具合などが異なります。さらに、気象、海象、昼夜の違により、仕事の難易度が変わるので、いつも新鮮な気持ちで仕事ができます。とてもやりがいを感じています。安全かつ的確に船を岸に着け、本船の船長に満足していただき、感謝されたときに達成感を感じます。

★
水先人を目指す君へ
メッセージ

三級水先人から挑戦するか、船会社を経験してから二級水先人から始めるか、船長を経験してから一級水先人となるのか、慎重に考えて進路を決めてください。

まずは、海技振興センターのサイトで最新の情報を集めることから始めましょう。

取材協力
関門水先区水先人会
(☎093-332-2384)



①関門海峡を再現したシミュレーター。②本船へ向かう水先船。③海図は頭に入っていますが、大型船が来る時は、再確認します。